



2025 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 サイバーステップ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 佐藤 類  
(コード番号：3810 東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 取 締 役 緒方 淳一  
(TEL 0570-032-085)

特別利益、特別損失の計上及び連結業績の前期実績との差異  
並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月期第 4 四半期連結会計期間（2025 年 3 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）において、下記のとおり、特別利益、特別損失を計上することとなりました。また、2025 年 5 月期の連結業績におきまして、前期実績値との対比において差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。加えて、「2025 年 5 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました 2025 年 5 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることといたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社子会社の清算終了に伴って、同社を連結の範囲から除外したことにより、当社連結貸借対照表に計上されている為替換算調整勘定の取り崩しに伴う為替換算調整勘定取崩益等 35 百万円を関係会社清算益として計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

当社のマーチャンダイジング事業における投資額の一部に対して、将来当社が負担することとなる損失見込み額を事業損失引当金繰入額として、52 百万円計上いたしました。また、2024 年 12 月 6 日付「棚卸資産売却の決定に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、収益改善の一環となる一部営業所の縮小に伴う「オンラインクレイゲーム・トレバ」（以下、「トレバ」）に係る景品在庫の売却損、及び退職関連費用を事業構造改善費用として、96 百万円計上いたしました。加えて、当社子会社の持分比率が減少したことによる持分変動損失を 96 百万円計上いたしました。

3. 業績に与える影響について

上記、特別利益及び特別損失につきましては、本日付で公表しております「2025 年 5 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

4. 連結業績の前期実績値との差異

(1) 2025 年 5 月期連結業績と前期実績値との差異 (2024 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日)

|          | 連結売上高        | 連結営業利益        | 連結経常利益        | 親会社株主に帰属する<br>連結当期純利益 | 1株当たり<br>連結当期純利益 |
|----------|--------------|---------------|---------------|-----------------------|------------------|
| 前期実績（Ａ）  | 百万円<br>2,986 | 百万円<br>△1,455 | 百万円<br>△1,520 | 百万円<br>△1,458         | 円銭<br>△122.34    |
| 当期実績（Ｂ）  | 2,504        | △1,787        | △1,916        | △2,149                | △110.71          |
| 増減額（Ｂ－Ａ） | △481         | △331          | △395          | △735                  | －                |
| 増減率（％）   | △16.1        | －             | －             | －                     | －                |

## （２）差異の理由

当社は2025年5月期において、中核事業である「トレバ」にて継続的なプロモーション施策の展開、コスト構造の見直し、及び人気IPを活用した景品ラインナップの拡充を軸に、海外市場への展開、並びに新規コンテンツの導入を推進してまいりました。また、既存事業の発展に加え、新たな収益基盤の確立として、国内アーティスト等との物品製作及び販売に係るライセンス契約によるマーチャンダイジング事業の推進に取り組んでまいりました。一方で、「トレバ」が属するオンラインクレーンゲーム市場においては、他社の新規参入が相次いだことにより競争環境が激化し、利用者の獲得・維持が難化する状況が続いており、マーチャンダイジング事業においては、制作コストの上昇やニーズの多様化や流行に迅速かつ柔軟に対応及び分析できる体制の構築の難航等により、売上強化及び収益に対する効果が出るには一定期間かかる想定としております。こうした外部環境等の変化に伴い、既存事業の利用率の低下や新規事業にて想定していた売上強化の施策が遅延したことにより、当連結会計年度の売上高は前期比で減少となりました。また、全社的なコスト削減施策を推進した結果、費用面では一定の抑制効果が見られたものの、売上高の減少幅が当初の想定を上回ったことにより、営業損失が拡大いたしました。加えて、上記１．及び２．を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失が拡大したことにより、前期実績との差異が生じることとなりました。

## ５．剰余金の配当について

### （１）配当の内容

|          | 決定額        | 直近の配当予想 | 前期実績<br>(2024年5月期) |
|----------|------------|---------|--------------------|
| 基準日      | 2025年5月31日 | 同左      | 2024年5月31日         |
| 1株当たり配当金 | 0円00銭      | 未定      | 0円00銭              |
| 配当金総額    | －          | －       | －                  |
| 効力発生日    | －          | －       | －                  |
| 配当原資     | －          | －       | －                  |

### （２）理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置づけており、利益分配としては、将来の事業展開や経営環境並びに連結業績等を総合的に勘案して決定する方針であります。

しかしながら、本日別途開示しております「2025年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載のとおり、当期業績において純損失を計上したことにより、誠に遺憾

ながら無配とさせていただくことといたしました。

株主の皆さまには深くお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復および復配に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上